

# 平成 28 年度第 1 回庄原市初任者研修会

平成 28 年 4 月 22 日（金） 庄原市役所 5 階 第 1 委員会室

「庄原市における教育課題を踏まえ、新任教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭 7 名，中学校教諭 7 名，養護教諭 1 名，主事 2 名】

## 【講話①】「初任者として大切にしてほしいこと」

庄原市教育委員会 教育部長 片山 祐子

【概要】児童生徒を指導する教職員として、自ら学び続けるとともに教育への情熱を伝え続けること。また、本市の目指す基本方針を理解するとともに、高い倫理観と常識のある姿勢を大切にすること。（挨拶・電話応対・身だしなみ・交通ルール）



（参加者の振り返りより）

- ◆教職員である前に、社会人としての心構えを忘れないようにしたい。
- ◆挨拶や電話の応対，身だしなみ等一つ一つを大切にすることで信用を得られるが，おろそかにすることで個人及び全体の信用を失うことになるため，意識して行動したい。
- ◆地域を知るために，地域の方と連携していきたい。

## 【講話②】「庄原市教育行政施策について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係長兼主任指導主事 東 直美

【概要】本市教育振興基本計画に基づく教育行政施策に基づき，各学校における教育が推進されていることを理解すること。また，広島版「学びの変革」アクション・プランの示す理念や方向性について理解すること。



（参加者の振り返りより）

- ◆庄原市は県の方針に沿った施策及び目標を打ち出していることが分かった。
- ◆「庄原で学んでよかった」と児童が思う教育を行いたい。そのために，教職員として学び続けたい。
- ◆「アクション・プラン」に示されているように，子供が主体になって展開する授業ができるよう日々の教材研究に努めたい。
- ◆最善解を求めて，自ら考え，行動していくことが重要だと改めて感じた。

## 【講話③】「児童生徒，保護者への対応」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 高見 省吾・佐々木 孝

【概要】保護者への対応については，日常的に連携を図るとともに保護者の思いを十分に受けとめて対応すること。また，生徒指導の意義や目標を踏まえ，児童生徒に自己指導能力を育成するとともに，問題行動への早期対応を適切に行うこと。（報告・連絡・相談・複数対応，早期対応，早期家庭連携）



（参加者の振り返りより）

- ◆対応する際は，「思いを受けとめる」「相手へ感謝する」ことが大切であると思った。
- ◆事例をもとに対処方法を協議できてよかった。もし自分ならどう指導するか，実践的な視点をもって考えることができた。
- ◆グループ協議を通じて，困難な状況になった場合に一人で抱えるのではなく，他の教職員と連携し複数で対応することで，より細かい対応に気付き解決できることを実感した。